



令和3年度がスタート！

4月6日に1学期始業式が行われ、令和3年度がスタートしました。校長式辞では、奥州市出身のメジャーリーガー大谷翔平選手の言葉「努力することを楽しむ」を紹介し、「勉強や部活動への前向きな取り組みを期待している」と話しました。その後、各学年の代表から新学期の決意が語られ、意欲に満ちた式になりました。感動したのはその日に行われた入学式準備です。新入生に北中生の本気の姿を見せるべく、リーガーを中心に群読や合唱を妥協なく練習していました。

139名の仲間を歓迎



翌日の4月7日には、26回生の入学式が、保護者と在校生の見守るなか行われました。冒頭の新入生呼名では、担任の呼名に続き、全員が元気な声で「はい。」と返事ができました。校長に正対したお辞儀も立派でした。校長式辞では、「これまで以上に、自分で決めて、自分で実行することを心がけてほしい。」と、勉強や部活動へ取り組む姿勢を伝えました。その後の「歓迎の言葉」と在校生の呼びかけ・合唱は、「さすが北中」と言える素晴らしいものでした。また、新入生「誓いの言葉」を堂々と述べた代表生徒も、将来の活躍を伺わせる立派な発表でした。感染症予防のため短時間で行われた入学式でしたが、凜とした雰囲気でもとても良い式になりました。

《誓いの言葉(抜粋)》新入生代表 生田侑里さん

中学校生活三年間で、行事や日常を通して真の友情、絆を築くために、次のことを心がけたいです。一つ目は普段の学習においても部活動においても、決してあきらめず努力し続けることです。不安になったり、くじけそうになったりすることもあると思いますが、仲間存在を忘れず、やると決めたことは最後までやり遂げます。二つ目は生活面において、小学校で教わってきたことを中学校でも生かし、さらに自分を磨いていくことです。小学校では、清掃と挨拶を頑張ってきました。これからも清掃や挨拶の質を高めて、心も体も磨いていきます。これからお世話になる先生方や先輩方、私たちに温かく、時には厳しいご指導のほど、よろしくお願いします。



《歓迎の言葉(抜粋)》生徒会長 奥玉悠花さん

これから北中生として生活していく中で大事にしてもらいたいことが二つあります。一つ目は、「感謝」することです。私たちは、誰かに支えてもらわないと生活ができません。先ほど紹介した「五つの合言葉」の中にある「ありがとう。」その一言をお互いに大切に、「感謝」の気持ちを忘れず、それを伝えていけるようにしましょう。二つ目は、何事にも「全力」で取り組むことです。中学校生活は三年間しかありません。その日々は思ったよりも早く過ぎていきます。だから、勉強にも、部活動にも、どんなことにも悔いが残らないよう「全力」で取り組んでいってほしいと思います。新入生の皆さんと過ごすこれからの日々を、私たちもとても楽しみにしています。